

テーマ：2010年1-3月期GDP（2次速報値）の予測
～ 前期比年率+4.2%へ下方修正を予想 ～

発表日：2010年6月3日（木）

第一生命経済研究所 経済調査部
主任エコノミスト 新家 義貴
TEL：03-5221-4528

6月10日に内閣府から公表される2010年1-3月期実質GDP（2次速報）は、前期比年率+4.2%（前期比+1.0%）を予想する。1次速報段階の前期比年率+4.9%（前期比+1.2%）から下方修正が予想されるが、年率4%を超える高成長であることに変わりはなく、景気認識の変更をもたらすものにはならないだろう。

設備投資は前期比+0.1%と、1次速報段階の同+1.0%から下方修正されると予想する。本日公表された法人企業統計では、設備投資が前期比▲2.6%と下振れた。QE推計に際して行われるサンプル替えの影響を軽減するための断層調整や、リース取引に関する会計基準適用の影響を除去するための処理などを行っても減少している。供給側推計値が若干上方修正される見込みではあるが、法人企業統計から推計される需要側推計値の落ち込みが大きく、設備投資は下方修正となる可能性が高いだろう。企業収益の回復や企業マインドの改善を背景として設備投資が緩やかな増加傾向にあることには変わらないが、その回復度合いは従来想定されていたよりも鈍かったということになる。

また、法人企業統計において、原材料在庫と仕掛品在庫が下振れたことから、在庫投資の対GDPの前期比寄与度は+0.1%ポイントと、1次速報（同+0.2%ポイント）から下方修正を予想する。その他、公的固定資本形成は、3月分の建設総合統計の結果を反映して前期比▲0.5%と、1次速報段階の同▲1.7%から上方修正されると予想する。

図表 2010年1-3月期GDP2次速報予測

2次速報予測値		1次速報実績	
	(%)		(%)
実質GDP	1.0		1.2
(前期比年率)	4.2		4.9
内需寄与度	0.3		0.6
(うち民需)	0.3		0.5
(うち公需)	0.1		0.0
外需寄与度	0.7		0.7
民間最終消費支出	0.3		0.3
民間住宅	0.3		0.3
民間企業設備	0.1		1.0
民間在庫品増加(寄与度)	0.1		0.2
政府最終消費支出	0.5		0.5
公的固定資本形成	▲ 0.5		▲ 1.7
財貨・サービスの輸出	6.9		6.9
財貨・サービスの輸入	2.3		2.3
名目GDP	1.0		1.2
(前期比年率)	4.2		4.9

※断りの無い場合、前期比(%)